

令和 8 年 第 3 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	倉 地 清 子	1. ごみ処理にかかる費用の削減を図るための生ごみの分別と減量化対策について	北斗市のごみ処理施設「クリーンおしま」の火災等に伴う代替処理コストの増大が懸念される中、可燃ごみの多くを占める生ごみの減量化は、町の財政負担を抑制するための最優先課題です。 町はごみの減量化の対策として、生ごみ処理機の助成事業を展開しましたが、令和 8 年度は受付開始から 2 か月で予算満了になりました。 ごみ減量化への意識が高まりつつある今こそ、町の財政負担、住民負担の軽減の観点から下記 3 点についてお伺いします。 1. 生ごみ処理機助成制度の補正予算による助成枠の拡大を図る必要性について。 2. 生ごみ処理機の種類や購入方法の違いによる住民負担の格差解消について。 3. 町指定生ごみ袋の小容量導入や透明ごみ袋の活用について。	町 長

令和8年 第3回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
2	小 西 雄 一	1. 八雲町における郷土教育の充実について	人口減少、少子高齢化が進む中、将来にわたり持続可能な地域社会を築いていくためには子どもたちが自分たちの暮らす地域の歴史や文化、産業、自然を学び、故郷に対する誇りと愛着をはぐくむことは重要です。 八雲町においては次の世代へ伝えるべき貴重な歴史的資源が数多く存在していますが、地域の歴史は意識して次世代へ伝えなければ、人口減少や世代交代とともに失われていく可能性があります。 八雲町教育目標の中において、郷土の文化や歴史を継承し、その発展に努めるとありますが、本町における郷土教育の現状と今後の在り方について伺う。 1. 八雲町には、尾張徳川家による開拓という全国的にも特色のある歴史があります。これらを八雲町独自の地域教材として体系的に整理し、これまで以上に小中学校の教育に活用していくべきではないか。 2. 郷土教育の目的は過去を学ぶことだけではなく、郷土の歴史を知り、現在を理解し、将来の八雲町を自ら考える人材を育てることにあります。教育施策、まちづくり政策の重要な柱として位置づけるべきではないか。	教 育 長

令和8年 第3回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
3	水 野 博 美	1. デジタル機器の活用から子どもたちを守る取り組みの現状と教育について 2. ボランティアポイント制度をまちづくりのきっかけに！	GIGA スクール構想の推進に伴い、八雲町でも児童一人ひとりに学習用端末が配布され、利活用が進んでいる。一方でスマホや端末の長時間利用、ネットトラブル等から子どもたちを守り、適切なリテラシーを育む取り組みが強く求められている。 教育委員会では「八雲町立学校における携帯電話の取扱い及び情報モラル教育の推進ガイドライン」や「学習用端末の家庭活用ガイドライン」を定めているが、これらは、学校や家庭でどのように機能しているか、以下の点について伺います。 1. 各ガイドラインの周知状況と実効性について (1) 児童生徒および保護者への周知・活用の実態はどのようになっていますか。 (2) 家庭での利用時間（小学生 21 時・中学生 22 時まで）ルールの遵守状況をどのように把握し、課題があればどう対応していますか。 2. 情報モラル・リテラシー教育の内容と実施状況について (1) 現在、各小中学校で展開されている情報モラル教育、リテラシー教育の具体的なカリキュラムや実施頻度は、どのようになっていますか。 (2) 「危険やルール」を教えるだけでなく、ネットの情報を正しく見極め適切に使いこなす「活用面でのリテラシー教育」の現状と取り組み、方針については、どのようになっていますか。 3. 条例の制定について 個人の自由を奪うものではなく、睡眠・健康を守る観点から、将来「条例」として町の統一したルールづくりの考え方と「教育観」について伺います。 近年、少子高齢化や人口減少の進行により、地域活動の担い手不足が課題となっています。一方で、若者をはじめとする幅広い世代が地域活動に参加するきっかけづくりや、現在活動している方々の意欲向上と継続的な参加を促す仕組みづくりが求められています。 そこで、地域活動への参加を促進するため、町が指定する環境美化活動、防災活動、福祉活動、各種イベントや講演会などへの参加に対し、参加実績に応じてポイントを付与する「ボランティアポイント制度」を導入する考えがあるか。 また、全国では熊本市などの自治体において、ボランティア活動実績を記録・証明し、進学や就職の際に活用できる「ボランティア活動証明書」を発行する取組が進められて	教 育 長 町 長

います。こうした制度は、若者の地域参加を促すだけでなく、地域貢献活動の見える化や活動意欲の向上にもつながるものと考えます。

そこで、国の交付金等の活用も視野に入れながら、活動実績を公的に証明する「ボランティア活動証明書」を発行し、進学や就職時の実績証明として活用できる仕組みを八雲町において導入する考えはあるか、町長の見解を伺います。

令和8年 第3回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
4	三 澤 公 雄	1. 自転車の車道通行を考える	自転車が“原則、車道通行”となりましたが、ドライバーの1人として「別な危険が増しているのでは？」という思いが増す光景が町内でも散見されています。なので、基礎自治体として『できる事』が有る、との思いで議論をしたい。 まず、共通認識出来ることを上げると、道幅が広くない道路で自転車が車道通行をされると…ドライバーは、とても怖い！ 次に、まだまだ自転車運転者のルール理解が低くてマナーも低い、これらは多くの方々も認識してくださると思います。 これらから派生する危険性に対して、何か対策を考えていらっしゃいますか？	町 長
		2. 町内にある活断層について	熊本地震で活断層の力をあらためて知る事となったので、この機会に過去に町内に有る活断層について行った注意喚起を重ねて行いたい。それは新幹線トンネル工事により掘削された要対策土の管理状況についてである。機構による現地調査の結果、『安全に保管管理ができる』という“お墨付き”の元に『要対策土置き場』を設置し、今日に至っていますが、”置き場“の幾つかは活断層上や、その付近で有りながら“お墨付き”を得ています。そこで伺う。活断層が“その力”を発揮したのちに『要対策土置き場』に“ずれ”や崩壊が起こった場合の被害や原状回復、また、その発生する費用については、八雲町と機構の間ではどのように整理されているのでしょうか？	町 長
		3. 熊石の義務教育学校について	8月20日の文教厚生常任委員会の報告を聴いた。予定を繰り上げ本年度中の基本設計づくりとなるようですが、発言を聴いていて、とても消極的な計画と感じたのでこの機会に議論をしたい。 私は既に義務教育学校に取り組んでいる安平町の「早来学園」をモデルにして、熊石色、八雲色を加えながら夢の持てる『義務教育学校づくり』をしてもらいたい、と考えています。教育長の考えを伺いたい。	教 育 長
		4. 『議員のなり手』についての町長の持論を伺う	まちづくりの例えに『行政と議会は車の両輪』とも例えられますが、前任の町長は議員経験が有りましたので、この質問をする機会を得ませんでした。萬谷町長は根っからの行政マンですので、その経験から得た『まちづくりのパートナーとしての議員像』をお持ち、と思いますので…お聞かせください。 今後の議会による『なり手養成講座』で活かしていきたいと考えています。	町 長

三澤 公雄議員

質問事項2. 『町内にある活断層について』

添付資料



令和8年 第3回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
5	赤 井 睦 美	1. 「スマートシュリンク」（賢く縮小）の導入を！ 2. 企業と包括連携協定を結び、DX人材の派遣を！	八雲町においては、図書館や総合体育館をはじめ、多くの町有施設が町内各所に分散して配置されています。一方で、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、施設の維持管理費や更新費用の増大が課題となっています。 また、「八雲町公共施設等総合管理計画」においても、将来にわたり持続可能な行政サービスを提供していくため、公共施設の再編や適正配置を進めることが位置付けられていますが、今後においては、公共施設について「どこを維持し、どこを縮小するか」を選択するという戦略的観点から重点的に投資する範囲を絞り、それ以外のエリアにおいては施設の維持経費の最小化を図ることで、公共施設の機能縮小、地域拠点の再編、民間との協働による代替サービスを行う「スマートシュリンク」という考え方が向いていると考えますが、町長のお考えをお伺いします。 庁舎建設や改修を契機に企業と連携してデジタル基盤を刷新した自治体が増えているとお聞きしております。 八雲町においても、企業と包括連携協定を結ぶことで一定期間職員を派遣してもらい、コストを抑え職員不足を補いながらDXを推進することも必要と考えますが、町長のお考えをお伺いします。	町 長 町 長

令和8年 第3回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
6	横田 喜世志	1. 八雲町公式LINEの 情報発信について 2. 行政契約のあり 方について	八雲町はLINEを使って学校教育・生涯学習・保健福祉・イベント情報・消防出動情報などを発信している。 8月10日、春日でヤギがクマに襲われた事案が発生しました。私を含め家族が他県の親せきから、テレビのニュースで放送されてる事を知らされ、心配していましたが、何のことやらさっぱり分からず、ちゃんとした受け答えが出来ませんでした。情報発信媒体のLINEを使ってクマなど有害鳥獣の出没情報を発信出来ないか伺う。 いろいろな契約があると思います。 一般的には一般競争入札契約・指名競争入札契約・随意契約・指定管理契約になると思います。 行政契約としては公平性・透明性・私法と公法の調和・対等性の担保が必要となります。 随意契約や指定管理契約についての選定方法について、あらためて伺います。	町 長 町 長

令和8年 第3回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
7	関 口 正 博	1. 財政健全化について	4月23日開催の全員協議会において財政健全化(事務事業の見直し)についての方針が示されました。 将来世代に過度な負担を残さず、持続可能な行財政運営を確立するため、財政健全化を進める必要性については異論ありません。一方で、財政健全化は町民サービスの低下や地域経済への影響、人口減少対策、産業振興、子育て支援、防災、行政DXなど、将来に必要な政策的投資まで抑制されることになれば、当町の中長期的な財政基盤そのものを弱めることにもなりかねません。 財政健全化は、単に歳出を削減することが目的ではなく、限られた財源の中で必要な町民サービスを維持しながら、将来にわたって持続可能な町政運営を実現するための手段であるべきと考え、以下の点について質問いたします。 1. 財政健全化とは具体的にどのような状況を目指すものなのか。経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率等について具体的な数値目標をどのように設定しているのか 2. これまでの歳出構造を見ると、民生費、衛生費、職員費等の増加が財政負担を大きくしている。これらについて要因分析を行い、単純な事業削減ではなく構造的な改善を進める必要があると考えるが、見解をうかがう。 3. 財政構造を改善するためには、歳出削減だけでは限界があると考え、自主財源の確保、ふるさと納税、町有資産の有効活用、地場産業振興など歳入を増やす取り組みについて、どのように進めていく考えか。	町 長

令和 8 年 第 3 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
8	大久保 建一	1. 選挙公約の実現について	萬谷町長は、選挙期間中「町民主体の町づくり政策」として、 ○高齢者・障がい者福祉の充実 ○地域医療の維持 ○災害対策・子育て支援の拡充 ○教育・文化・スポーツ振興 ○農業振興対策 ○林業振興対策 ○漁業振興対策 ○商工業・観光振興対策 ○交流人口拡大対策 ○町民主役の取り組み ○財政健全化 など、各分野についてそれぞれ公約を述べている。 また、その中でも重点政策として ○地産地消の推進・物産振興・情報発信のため「道の駅」の建設 ○通院・買い物支援の乗合タクシーの導入（移動手段の足確保） ○出産祝い金の支給（1 人目 20 万円、2 人目 30 万円、3 人目 50 万円） ○北海道新幹線新駅周辺整備・町内観光周遊ルート等の開発（乗降客増加対策） ○国道 277 号線雲石峠区間の早期事業化の要請（国土交通省へ強化） ○避難所施設への冷暖房等の整備 を掲げている。 来年度から初めて、自らの意向を反映する予算編成となりますが、どのように公約を実現していくのか、町長の考えを伺う。	町 長